

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2012 春号
NO.56

さようなら、No.1。



No.1のこども達



No. 12
(トラジロウ)



提供：九十九島動植物園

No. 13
(ひとみ)



提供：福岡市動物園

No. 18



No. 25
(リリー)



No. 28



No. 29
(ヤマ)

No. 1は公開ヤマネコではありませんが、飼育下繁殖に貢献し、沢山のヤマネコたちを残してくれた功績を偲んで、センターでは記帳台を設けています。みなさまからの沢山のメッセージをお待ちしています！
三月三十一日には、No. 1の仔「ひとみ」が、西海国立公園九十九島動植物園から京都市動物園に移動しました。京都市動物園では、四月二十八日にオープンする「もうじゅうワールド」で公開される予定です。お近くの方は、ぜひ会いに行ってくださいね！

高齡のため、平成二二年に対馬に里帰りし、センターで静かに余生を過ごしていました。まだまだ長生きできると思っていました。が、二月末に体調を崩してそのまま亡くなりました。

福岡市動物園では繁殖に参加し、十三頭の仔をもうけ、そのうち六頭は現在も各動物園で元気に暮らしています。井の頭自然文化園で公開されている「トラジロウ」は、No. 1の仔、センターで公開している「福馬」は孫に当たります。

このヤマネコは、ツシヤマネコの飼育下繁殖事業に一番初めに加わったヤマネコです。平成八年七月六日に上県町志多留で網に絡まっている所を地域住民に保護され、ツシヤマネコを守る会の山村会長の協力のもと、福岡市動物園に送られました。

三月一日、対馬野生生物保護センターで飼育していた最高齡のヤマネコ、No. 1が亡くなりました。十五才でした。

ありがとう、No. 1！

やまねこ News

検査捕獲を実施しました！

昨年野生復帰させて追跡調査を行ってきた三頭のヤマネコ（峰町志越で昨年四月に野生復帰したオス、上対馬町河内で昨年六月に野生復帰したメス、上対馬町舟志で昨年八月に野生復帰したオス）の検査捕獲を今年一月に実施しました。検査の結果、二頭のオスのヤマネコは野生復帰したときよりも体重が増え、健康状態も良好であることが確認されたため、捕獲地点付近で再び野生復帰させました。一方、メスのヤマネコは体重がやや減少していたため、しばらくセンターで様子を観察してから再び野生復帰させました。センターでは今後も引き続き追跡調査と検査捕獲によるモニタリング調査を実施していく予定です。

ヤマネコ野生復帰♪

昨年十二月十五日に上県町佐護の民家で犬小屋に迷い込んだところを保護された若いオスのヤマネコを、今年一月三〇日に保護地点付近の山中で野生復帰させました。約一ヶ月間の追跡調査の結果、このヤマネコは佐護湊の集落周辺で暮らしていることが確認され、二月二一日に佐護湊の民家の床下で首輪が切れて脱落した発信機を回収しました。現在は自動撮影カメラによるモニタリング調査を継続中です。



野生復帰したヤマネコ



捕獲時の様子

死因はイエネコ？

二月十三日に上対馬町河内でヤマネコの死体が発見されました。上段で紹介した個体で、昨年六月に野生復帰し、センターでモニタリングを続けていたメスのヤマネコでした。体の咬み傷からイエネコのDNAが検出され、イエネコの攻撃で死亡したと考えられます。イエネコの攻撃で死亡したヤマネコはこれで二頭目です。ノラネコを増やさないよう、対馬市の条例に基づき、ネコをきちんと飼っていたかどうかお問い合わせします！

保護されたヤマネコ死亡する

一月十二日に上県町佐須奈でヤマネコが保護されましたが、治療の甲斐なく十四日午後亡くなりました。亜成獣のメスで、非常に衰弱していました。秋から冬は、独り立ちしたヤマネコが弱っていることがありません。そんなヤマネコを見つけたら、できるだけ早くセンターまでご連絡ください！



保護されたときの様子



死亡したヤマネコ

「新職員あいさつ」 よろしくお願ひします

はじめまして。西野 雄一です！

この四月から水崎の後任としてやってきました。これまで、新宮（紀伊半島の下の方）、釧路、大阪、東京、広島と回って対馬にたどり着きました。まだまだ、右も左もわからない状態で皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、ツシマヤマネコをはじめとする対馬の自然環境の保全に少しでもお役に立てるようがんばりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

出身地：大阪
家族：妻、子
趣味：昼寝

家族共々よろしく
お願ひします♪



対馬の皆さんはじめまして！

四月から対馬野生生物保護センターで普及啓発と地域社会づくりを担当させていただく笹沼萌と申します。ずっと横浜で生活していたので、対馬の自然はとても新鮮です！色々分からないことだらけですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします♪

出身地：神奈川県
趣味：イラスト
特技：迷子

センターに遊びに
来てね♪



第10回ヤマネコ・クイズの答え！

答え. 夜間と夕方～明方の時間帯（ヤマネコが活動する時間帯はいつでしょう？）

対馬の環 News



舟志の森やまねこ音楽祭FINAL!

舟志の森づくりと、舟志区の活性化を応援するため、有志によって開催されていたやまねこ音楽祭が、旧舟志小学校を活用した舟志の森自然学校の運用開始を区切りとし、二月十一日に最終回を迎えました!

音楽祭ではつばきやろくべえも大活躍!大盛況のうちに幕を閉じました。

やまねこ音楽祭は今回で最終回となりましたが、森づくりや自然学校等、舟志での活動はこれからも続きますので、今後ともよろしくお願ひします!



出演者全員によるアンコール

内山座談会を開催しました!

「里山」をキーワードにヤマネコとの共生を目指している内山区で、二月二〇日に集落座談会を開催しました。

内山盆地まつりでの漬物の試食等を振り返り、今後どの様に内山区を活性化していくかを話し合いました。



座談会の様子

ヤマネコ教室 実施していきます!

やまねこセンターでは、対馬の自然に誇りを持つ子供たちの育成を目的に、「ヤマネコ教室」を開催しています。平成二三年度はのべ三二校にご利用いただきました!

ツシマヤマネコに関するレクチャーの他に、ヤマネコの調査体験や、対馬の自然を楽しむゲームなどを実施しています。

受講料は無料で、出張講座等も行っていきます。総合学習や学級レク等、お気軽にご利用ください!



ヤマネコ教室の様子

御嶽トレッキングを実施しました!

一月十五日、対馬観光物産協会と共催で御嶽のトレッキングを開催しました!

参加者は清々しい空気の中、厳しい冬を生き残るための工夫を凝らした種子や冬芽など、冬ならではの御嶽を楽しんでいました。



トレッキングの様子

「異動のご挨拶」お世話になりました



対馬での三年間は、密度の濃い三年間でした。楽しい時もありましたが、どれもかけがえのない経験です。

どんな時も地域の人達が優しく親身になって下さり、それがとても嬉しかったです。本当にありがとうございました!

事務補佐員
普及啓発担当
杉山



三年間お世話になりました。傷ついたヤマネコの保護からヤマネコに配慮したお米づくり・森づくりや動物園との協力など、沢山の方と仕事をさせていただき、気持ちを通わせることの大切さを強く感じました。皆さまからいただいた暖かい気持ちを胸に今後も別の立場から対馬を応援していきます。

自然保護官
業務全般を担当
水崎



対馬のすごさはヤマネコがいることではなく、ヤマネコが生きていける環境があり、人の暮らしもその中にあることだと思います。対馬の豊かな暮らしがいつまでも続くことを願っています。四年間お世話になりました。ありがとうございました。

アクティング
レンジャー
獣医師
山本



センター用語

モニタリング調査：野生復帰後にヤマネコが元気に暮らしているかを確認すること。



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

馴化ケージ内イメージ図



拠点施設イメージ図



全体イメージ図

野生馴化施設のイメージ図、完成♪

環境省では下島のヤマネコの絶滅を避けるため、動物園で生まれたヤマネコを下島の自然に帰す事業を新たに始めます。
動物園で生まれ育ったヤマネコは生きて餌の獲り方などを知らないもので、野生で生きていくための訓練が必要です。また、上島で行ってきた取組みを下島でも実施し、下島の環境をヤマネコが棲みやすいようにしていくことが必要です。

そうした訓練や取組み等を実施する拠点施設として、平成二四〜二六年度に厳原町の鮎もどし自然公園の一部に野生馴化施設を作る予定で、今回イメージ図が完成しました！
哺乳類を野生に帰す事業は国内初で、訓練は慎重に行う必要があります。このため野生馴化施設ではヤマネコを直接お見せすることはできませんが、モニターで訓練の様子をお見せしたいと考えています。

ツシマヤマネコ保護の取組みが対馬全島に広がり、全国的な知名度も上がることで、上島ややまねこセンターの来館者や島内外で対馬やヤマネコを応援してくれる方が増えることを期待していますし、上島でもこれまでの取組みをさらに発展させたいと考えています。

これからもヤマネコを守ることで暮らしが豊かになる社会を対馬全島の皆さまと一緒に模索していけたらと思いますので、よろしくお願ひします！

今日の一枚 『ヤマシヨウベン』

五月に渡って来る旅鳥。のどから胸は白く、腹はオレンジ色、黒い頭、青い羽、赤い口ばしが特徴で、とても目立つ魚です。
運が良ければ見れますが、昨年は目撃が少なかった年でした。今年こそGWに間に合うように！と、願っている一人です。



編集後記

春は出会いと別れの季節。センターも、3名の職員を送り出し、2名の新職員を迎え入れました。新体制で、今年度も精いっぱい頑張ります！どうぞよろしくお願いいたします。

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。